



カルチャートーク Creators@Kamogawa

Creators@Kamogawa は、日本とドイツのクリエイターが、アートやカルチャーに関連する話題について語り合うイベントシリーズです。

第1部：『映像アーカイブの重要性』

「アーカイブ」という言葉は、そもそも「公文書の保存所」を意味します。映像のアーカイブは、英独米仏においては1930年代に、日本でも東京国立近代美術館フィルムセンター（現・国立映画アーカイブ）が1952年に開設され、昨今ではアナログ資料のデジタル化が各国・各施設で進められています。映画・映像の保存はなぜ必要なのか。保存に関わる作業はどんなふうに行われるのか。保存された作品・資料はどのように使われるべきか。映像作家と、京都文化博物館でフィルムアーカイブを担当する専門家が話し合います。

トークの後は、館内のドイツカフェ『カフェ・ミュラー』にて、ドイツビールやおつまみを片手に交流をお楽しみください。交流会では、滞在中のドイツの芸術家の作品も、モニターでご覧いただけます。

第2部：『日本人はなぜ「きれい好き」か』

日本の学校では生徒が掃除をする。そう言うと外国人の人に驚かれることがあります。サッカーの世界カップでは、試合終了後に日本のサポーターが観客席を掃除の様子がテレビ放映され、海外メディアに称賛されました。禅宗には「一掃除二信心」という言葉があるそうです。なぜ日本では清掃に重きが置かれるのか。不思議に思っている日本の掃除道具の作成に取り組み、掃除の精神的な意味をリサーチしたいというデザイナーふたりと、建仁寺の塔頭で副住職を務める禅僧が、掃除の思わぬ効用について考えをめぐらせます。



© privat

エーファ・クノッフ (映像作家)
Eva Knopf (Filmemacherin)

ゲッティンゲンで民俗学を、アムステルダムで映画とテレビ研究、カリフォルニアで修辭学と映画理論、ルードヴィヒスブルクでドキュメンタリー映画監督(製作)を学んだ。2011年からベルリン自由大学映像人類学科で講師。『Majubs Reise』(2013年)や『MyanmarkeU』(2017年)では、映画の断片やアーカイブ資料を用いて制作に取り組んだ。ヴィラ鴨川滞在中は、日本古来の修復技法「金継ぎ」に着想を得て、エッセイ映画『MOVIE KINTSUGI』を製作する予定。



森脇 清隆 (京都文化博物館学芸員)
Kiyotaka Moriwaki (Kurator)

京都府京都文化博物館学芸員・情報室長。1962年生まれ。1988年の同館開館時から京都府が収集した映画資料の収集、保存、公開に携わる。年間100作品にのぼる博物館での上映企画を手掛ける。2008年より世界のクリエイターたちと時代劇作りを学ぶワークショップ「京都フィルムメーカーズラボ」に携わり、人材育成にも尽力。京都の豊かな映画遺産を活用した映像文化振興に取り組む。www.bunpaku.or.jp



小崎 哲哉 (司会、構成)
Tetsuya Ozaki (Moderator)

1955年東京生まれ、ウェブマガジン『REALKYOTO』発行人兼編集長。写真集『百年の愚行』『続・百年の愚行』を編著者として刊行し、現代アート雑誌『ART iT』を創刊した。京都造形芸術大学大学院学術研究センター客員研究員、同大学舞台芸術研究センター主任研究員、同大大学院、愛知県立芸術大学講師。あいちトリエンナーレ2013のパフォーミングアーツ統括プロデューサーも担当した。2018年3月、『現代アートとは何か』を河出書房新社より刊行。realkyoto.jp



© Janine Gebran

ビルギット・ゼヴェリン (プロダクトデザイナー)
Birgit Severin (Produktdesignerin)

オランダで哲学と認知神経科学、コンテクスチュアルデザインを学び、2013年に「Studio B Severin」(ベルリン)を設立。韓国とヨーロッパのデザイン交流を促進する「OCS Berlin」の共同設立者。2015年よりベルリン技術経済大学講師。

ギヨーム・ノイ=リナウド (プロダクトデザイナー)
Guillaume Neu-Rinaudo (Produktdesigner)

フランスでプロダクトデザインを、オランダでソーシャルデザインを学んだ。2013年よりフリーランスのプロダクトデザイナーとしてベルリンで活動。デザイナーデュオ「Studio B Severin」のメンバー。デザインブランド「Proof of Guilt」の共同設立者(2015年)。

ふたりはヴィラ鴨川滞在中、伝統的な箒や束子の使用・製作、また日本の掃除の精神的な意味をリサーチし、日本の職人と共に新しいデザインを制作する予定。birgitseverin.com



上松 正宗 (禅居庵副住職)
Shoju Uematsu (Mönch, Zenkyoan Tempel)

1979年京都建仁寺の塔頭寺院、禅居庵に生まれる。大阪芸術大学映像学科卒業後、映像作家として活動。2013年から4年間、京都精華大学で非常勤講師として写真の授業を担当。禅居庵では2003年より音楽ライブや現代アート展を開催。現在は毎年初夏に、寺に縁のある100人に聞いた大切な絵本とメッセージを展示する「はじまりの絵本展」を開催するなど、幅広い年齢の人々が集い、芸能、芸術に開かれた禅寺を目指し活動している。zenkyoan.jp



主催・お問い合わせ
Goethe-Institut Villa Kamogawa
京都市左京区吉田河原町19-3 (川端通り荒神橋上る)

TEL: 075-761-2188 (内線31#)
info@villa-kamogawa.goethe.org
www.goethe.de/villa-kamogawa/ja

〈交通のご案内〉

京阪電車 出町柳駅より南へ徒歩8分
京阪電車 神宮丸太町駅より北へ徒歩6分

館内のドイツカフェ『カフェ・ミュラー』も、ドイツビールや軽食などをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。(カフェ・ミュラーでの飲食は各自ご負担ください)



**GOETHE
INSTITUT**
VILLA KAMOGAWA